

中学校

自主・自律

人間関係

社会参画

第1学年 総合的な学習の時間

「輝く中学生を目指して」(17時間)

1 単元の目標

- ① 中学校の学習や生活に関するきまりについて考える活動を通して、その意義や役割を理解し、自主的・自律的に行動することができる。
- ② 上級生や卒業生の努力や活躍を調べることで、自分たちが学校の一員としての誇りと自覚をもち、よりよい中学校生活を送るためにできることを考え、実践することができる。

2 単元で育てたい資質・能力

◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・小学校生活と中学校生活との違いから、中学生として求められる行動について考えるとともに、上級生の様子等を調べることで、中学生としてふさわしい行動を考え、実行する。

◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

- ・上級生たちの立場や思い、自分たちの学校の素晴らしさを調査活動から理解し、友達と共に、自分たちが学校の一員であることを自覚し、中学生としてふさわしい行動をする。

□社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・自分の学校の自慢できることを調べたり発表したりすることで、自分が学校の一員であることの自覚と責任をもち、進んでよりよい学校づくりに向けた活動を行う。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

シティズンシップ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの学校が自慢できることを調べることで、学校の一員としての誇りと責任を自覚させ、学校をよりよくしようとする態度を育てる。 ・よりよい学校づくりに向けて自分たちが取り組むことを考え、実践することで、よりよい学校生活の実現に寄与する素地を養う。
法教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校のきまりについて考えることを通して、その意義を理解するとともにそれらを遵守し、他者の権利を大切にすることや自己の義務を確実に果たそうとする態度を育てる。

4 単元の指導計画（17 時間扱い）

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ★評価	指導上の留意点
1次 (3)	問 い を も つ	<p>【中学校の生活について考える】</p> <p>○小学校生活と中学校生活との違いや、その理由について話し合う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科担任制、制服、部活動 ・中学生らしい態度、周囲からの期待 等 <p>○学校生活や社会生活において、中学生に求められる行動について考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則を守る、学業に励む、部活動で活躍する。 ・地域のボランティア活動に取り組む。等 	<p>◇問題発見・解決力</p> <p>★小学校生活と中学校生活との違いから、中学生として求められる行動について考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での生活を想起させ、中学校生活と対比させることで課題を見いだせるようにする。
2次 (5)	調 べ る	<p>【上級生の学校や地域での取組を調べる】</p> <p>○上級生が学校や地域での生活において頑張っていることや努力していることを調べる計画を立てる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習面や生活面での頑張りに ・部活動の状況や卒業生の活躍 ・地域での頑張りの活躍 等 <p>○上級生が学校や地域での生活において頑張っていることや努力していることを調べる。(4)</p>	<p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★上級生たちの頑張りの努力を調べる活動を通して、学校の一員であることの自覚と責任をもっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取材をする際に注意することを確認する。 ・調査結果をまとめる際には、人権や著作権に配慮するように指導する。
3次 (7)	実 践 す る	<p>【自分の学校のよさを紹介し合う】</p> <p>○調べたことを基に自分の学校のよさを紹介する発表会の計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的 ・方法 ・紹介する内容 ・参加者 ・役割分担 等 <p>○紹介する会の準備をする。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料やプレゼンテーション資料の作成 ・練習や事前のリハーサル <p>○紹介する会を開催する。(2)</p>	<p>◆他者と協働する力</p> <p>★発表会の実施に向けて、友達と協力して計画を立てたり、準備したりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表した内容について互いに尊重するように助言する。 ・発表後に招待者からの感想を聞き、自分たちへの思いや期待を把握するようにする。
4次 (2)	振 り 返 る	<p>【自分の学校をよりよくするために、自分たちが取り組むことを考える】</p> <p>○自分が、上級生たちと共に学校をよりよくするために取り組みたいことを作文に書く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習と部活動との両立を図りたい。 ・地域のボランティア活動に進んで取り組みたい。 <p>○自分たちがこの学校に通う中学生として、あるべき姿や行動目標を考え、学級スローガンにまとめる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人に優しく、自分に厳しく行動しよう！」 ・「新たなことにトライ！○○中生」 	<p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★自分自身が学校の一員であることの自覚と責任を理解し、進んでよりよい学校づくりに向けた活動を考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が学校の一員としての自覚をもち、考えることができるように助言する。 ・作成したスローガンを教室に掲示する。

中学校

自主・自律

社会参画

未来の創造

第1学年 総合的な学習の時間

「将来の町づくりのために」(19時間)

1 単元の目標

- ① よりよい町づくりのための調査活動を通して、町の課題を自らの課題として考え、解決に向けての提案をすることができる。
- ② 自分たちの町をよりよくするための提案を行うことで、社会の一員としての自覚と責任をもたせ、よりよい社会をつくる担い手として実践することができる。

2 単元で育てたい資質・能力

◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・町をよりよくするための課題を見付け、自分たちにできる解決策を明らかにするための調査方法を考える。

□社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・調査活動を行うことを通して、地域に暮らす一員としての自覚を深め、よりよい町づくりのために調査結果を分析する。

■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・アンケート等の調査結果から、自分たちの町をよりよくするために自分たちに何ができるかという視点で改善策を考え、実践すべきことを発表する。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

シティズンシップ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい町づくりに向けて、自分たちが取り組むことを考えて提案することで、社会の一員としての自覚と責任を育てる。 ・よりよい町づくりについて考えることを通して、よりよい社会の実現に寄与するための必要な資質や能力を育てる。
防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害に対する自助、共助の精神を養うとともに、自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの視点から、よりよい町づくりについての実践的な態度を育てる。
主権者教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治は住民自治を基本としている視点から、主権者としてよりよい町づくりについて考え、地域社会の形成者としての資質や能力を育てる。
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい町づくりについて考えることを通して、社会の中で自分の役割を果たし、自分らしい生き方を実現していこうとする態度を育てる。
住教育	<ul style="list-style-type: none"> ・町の暮らしの改善策を考えることで、住生活や住環境をより豊かにしていこうとする資質や能力を育てる。

4 単元の指導計画(19 時間扱い)

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (3)	問 い を も つ	<p>【町の現状について考える】</p> <p>○町のよい点や改善すべき点について話し合い、理想の町の姿を考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人々のマナーがよい。 ・道が狭く、見通しがよくない。 ・誰にでもやさしい町にしたい。 ・災害に強い町にしたい。 <p>○町の現状を把握し、理想の町づくりのために必要な情報を収集・分析する方法を考える。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の人へのアンケートやインタビューの実施 ・町の状況を把握するための実地踏査 等 	<p>◇問題発見・解決力</p> <p>★町をよりよくするための課題を見付け、自分たちに何ができるかという視点を持ち、解決に向けての調査方法を具体的に考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町に暮らす一員としての視点から理想の町を考えるように助言する。 ・調査目的や実現の可能性を明確にして、計画を立てるように指導する。
2次 (11)	調 べ る	<p>【自分たちの町を調査する】</p> <p>○調査計画を立て、アンケート用紙の作成や実地踏査の場所の選定を行う。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町のよい点や改善していきたい点 ・自慢できる場所や改善したい場所 <p>○計画に従って調査を実施する。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート用紙の配布及び回収 ・実地踏査やインタビューの実施及び記録 <p>○調査結果をまとめる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町並みの美しさが町の自慢だ。 ・マナーを守らない人への不満が多い。 	<p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★相手の立場をよく考えて調査活動に取り組み、地域に暮らす一員としての自覚を深め、よりよい町づくりに向けて調査結果を分析している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や町の人を対象に実施するアンケートの内容は、人権上の配慮等に十分注意するように指導する。 ・校外学習での注意事項の指導を徹底する。
3次 (5)	振 り 返 る	<p>【町の暮らしの改善策と理想とする町の将来像を考える】</p> <p>○調査結果を基に、自分たちの町の暮らしの改善策を検討し、報告書にまとめて発表する。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪スペースを確保するように行政に提案し、点字ブロック上に駐輪することがないようにする。 ・高齢者と中学生との交流会や、町全体でできるボランティアを実施する。 <p>○発表された改善策を基に、理想とする将来の町の姿について考え、自分が今できることを作文に書く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、点字ブロック上に駐輪しないよう気を付けたい。 	<p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★調査結果を基に自分たちの町をよりよくするために、実現可能な改善策を考え、発表している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の一員であるという自覚に立って、改善策を考えるように助言する。 ・作文を提示し、互いの考えを共有できるようにする。

中学校

自主・自律

社会参画

未来の創造

第1学年 総合的な学習の時間

「10年後の私」(13時間)

1 単元の目標

- ① 自分が将来就きたい仕事について調べたり、友達と紹介し合ったりする活動を通して、社会には様々な職業があることを理解し、自己の進路や生き方について考えることができる。
- ② 10年後の私についての新聞を作成する活動を通して、自分の目標や夢の実現に向けての意欲を高める。

2 単元で育てたい資質・能力

◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・日常生活やこれまでの経験から調べたい職業について考えるとともに、自分の将来の姿を想像しながら、その職業に求められる資質や資格を調べる。

□社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・社会には様々な職業があり、多くの人々の支えで自分の生活が成り立っていることを理解し、働くことで自分も社会の発展に貢献しようとする。

■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・職業を調べる活動を通して、働くことの意義や大切さを理解し、将来の社会で自分に何ができるかについて考えながら、「10年後の私」と題した新聞を作成する。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職業について調べる活動を通して、働くことの目的を考えさせ、望ましい勤労観や職業観の形成の基礎を培う。 ・自分が望む職業とその職業の適性を考えることで、将来の自分の生き方について見直す力を育てる。
シティズンシップ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・職業を調べることで自分が多くの人々に支えられていることを理解させ、社会の一員として、社会をよりよくしようとする態度を育てる。
ICT教育	<ul style="list-style-type: none"> ・「10年後の私」と題した新聞の作成を通して、情報の発信や目的に応じた情報を適切に活用する能力を育てる。

4 単元の指導計画（13 時間扱い）

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (5)	問 い を も っ つ	<p>【職業について話し合う】</p> <p>○自分が興味・関心をもっている仕事について友達と話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護士、医師、看護師、理容師、消防士、スポーツ選手、エンジニア 等 <p>○様々な職業と働く人の適性について考え、発表する。(2)</p> <p>○働くことの目的について話し合い、調べたい職業を選択する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族のため、賃金のため、名誉や社会的地位のため、世の中の役に立つため 等 <p>○様々な職業とその職業に必要な資格について調べる計画を立てる。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護士になるためにはどのような資格がいるのか。 等 	<p>◇問題発見・解決力</p> <p>★日常生活やこれまでの経験から、調べたい職業について考えるとともに、その職業に求められる資質や資格について調べている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職業に対する偏見や差別、個の家庭状況等に十分配慮する。 ・ 調べたい職業について、選択した理由等を丁寧に振り返ることで、働くことの意義について考えさせるようにする。
2次 (4)	調 べ る	<p>【職業と資格について調べる】</p> <p>○計画に沿って、自分が選んだ職業について調べる。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師になるには大学の医学部を出て、国家試験に合格する必要がある。 ・ 建設業に従事する人は、自分が関わった建造物に誇りをもっている。 <p>○自分が選んだ職業について、分かったことや考えたことをまとめる。</p>	<p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★社会には様々な職業があり、多くの人の支えで自分の生活が成り立っていることを理解し、働くことで自分も社会に貢献しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が調べている職業について理解が深まるように個別に支援する。 ・ インタビューするときには、あらかじめ質問する内容を明確にするように指導する。
3次 (4)	振 り 返 る	<p>【「10年後の私」と題する新聞を作る】</p> <p>○自分たちが調べた職業について発表会を開いて紹介し合う。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 将来就きたい職業 ・ 必要な資格や求められる資質 ・ 仕事の苦労ややりがい ・ 自分の将来の夢の実現に向けた取組 <p>○学習を振り返り、「10年後の私」と題する新聞にまとめる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 弁護士になるために、司法試験の勉強をしてみたい。 ・ 簿記等の資格をとって、会計事務所で働いてみたい。 ・ 教師になるために教員免許を取得し、採用試験を受けたい。 	<p>■持続可能な社会の実現に向けた実践力</p> <p>★将来の社会で自分に何ができるかについて考えながら、「10年後の私」と題する新聞を作っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表する手順について確認するとともに、将来の夢の実現に向けての自分の取組についても具体的に考えるように助言する。 ・ 5年後は高校を卒業すること、8年後は成人となっていることなど、自分の成長の具体的なイメージがもてるようにする。 ・ 新聞作りに際し、ICT機器を有効に活用できるようにする。

中学校

自主・自律

社会参画

未来の創造

第2学年 総合的な学習の時間

「自己実現を目指して」(33時間)

1 単元の目標

- ① 職場体験を通して、働くことの意味や大切さについて考え、社会を形成する一員としての自覚を高める。
- ② 職場体験を通して、自分の将来のあるべき姿を想像し、将来につなげるための自分の課題を考え、解決するために努力しようとする。

2 単元で育てたい資質・能力

◇自主・自律

「生活をよりよくする力」

・望ましい生き方について考え、適切な行為を選択し、実践すること

・自らの生活や自己を見つめ直し、将来の自分を想像しながら、よりよい生き方を考え、生活の向上を図ろうとする。

□社会参画

「主体的に計画・行動する力」

・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

・働くことや様々な職業の社会的な役割と意義を理解し、社会の一員としてよりよい未来のために自分にできることを考え、実践する。

■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

・職場体験を通して、自らの将来について想像し、将来へつなげるための現在の自己の課題を考え、解決するために努力しようとする。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意味や勤労の尊さを体得し、働く人の思いに触れることで、職業に対する関心を高め、理解を深める。 ・働いている人との交流を通して、社会人としての基本的なマナーや言葉遣いを身に付けることができるようにする。
シティズンシップ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職業がもつ社会的な役割や意義の理解を通して、社会をよりよくしようとする意識を高め、積極的に生涯にわたって学び続けようとする態度を育てる。
消費者教育	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験を通して、消費者の権利と役割について理解し、それに基づいた意思決定と消費行動を実践する態度を育てる。
金融教育（金銭教育）	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことに対する金銭的な価値について考え、健全な勤労観を育てる。

4 単元の指導計画 (33 時間扱い)

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (4)	問いをもつ	<p>【自己実現に向けて、自己の課題を考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これからの社会を形成する一員として、働くことの意義とつくりたい社会について考える。(2) ○これからの社会を形成する一員として、自己の課題を考える。(1) <ul style="list-style-type: none"> ・将来の目標を明らかにしたい。 ・自分に合った仕事を見付けたい。 ・働くことのやりがいを見付けたい。 ○課題が解決できるような職場体験の計画を立てる。(1) <ul style="list-style-type: none"> ・体験して学びたいこと ・仕事の内容 ・安全面等で気を付けること 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◇生活をよりよくする力 ★自らの生活を見つめ直し、日常生活や社会状況と照らし合わせながら、職場体験の計画を立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業の内容や特色を理解させる題材を使用し、職場体験学習のねらいや意義、留意事項などについて理解させる。
2次 (24)	調べる	<p>【職場体験をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事前に職場訪問をする。(1) <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の内容、注意すること ○職場体験をする。〈2日間〉(8) <ul style="list-style-type: none"> ・地域の商店街での仕事 ・小学校での仕事 ・公共施設での仕事 等 ○職場体験を通して学んだことを話し合う。(1) <ul style="list-style-type: none"> ・働くことの意義 等 ○職場体験をする。〈3日間〉(12) <p>【自己の課題を克服するための取組について考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○将来の自己実現に向けて、どのようなことに取り組む必要があるか考える。(2) <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な知識の獲得 ・資格の取得 ・コミュニケーション能力の伸長 ・ICT活用のスキルアップ 等 	<ul style="list-style-type: none"> ◇生活をよりよくする力 ★自己の課題を解決するために、主体的に職場体験に取り組んでいる。 ■持続可能な社会の実現に向けた実践力 ★職場体験を通して、将来の自分を想像しながら、よりよく生きるために必要な資質や能力を考え、生活の向上を図ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験中の注意点について確認する。 ・職場体験の後には、ワークシート等を用いて、自分の体験について振り返る。 ・グループでお互いの職場体験について紹介し合う時間を設定し、他の仕事についても知る機会を設ける。 ・自己実現を図るためには、日々の学習が大切であるということを、これまでの学校での学習について振り返ることで気付かせるようにする。
3次 (5)	振り返る	<p>【職場体験を振り返り、自分の役割を考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○礼状を作成する。(1) ○職場体験を振り返り、自己の課題を整理する。(2) <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く物事に向き合う。 ・礼儀正しい所作を身に付ける。 ○社会を形成する一員として自分の役割を考える。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> □主体的に計画・行動する力 ★職場体験を通じて、働くことの意味や大切さを理解するとともに、社会の一員であることを自覚し、自分にできることを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだ職業の特色などを考えつつ、自分なりに職業の価値について考えをまとめさせる。 ・導入の段階で考えた働くことの意義と比べることで自分の考えが具体的になっているか振り返るよう助言する。

中学校

自主・自律

社会参画

未来の創造

第2学年 総合的な学習の時間

「賢い消費者になろう」(9時間)

1 単元の目標

- ① 市民・消費者の権利と役割について理解することを通して、社会経済と自分の生活とを関連付けながら賢い消費者について考え、よりよい社会の実現に寄与しようとする意欲を高める。
- ② 消費生活に関する基本的な知識・技能を習得することを通して、消費者に関わるトラブル等について理解を深め、社会のルールの意義について考えることができる。

2 単元で育てたい資質・能力

◇自主・自律

「生活をよりよくする力」

・望ましい生き方について考え、適切な行為を選択し、実践すること

・消費生活に関する自らの課題を見付け、その解決方法を考えることで生活の改善を図るとともに、契約についての理解を深め、消費者として主体的に社会に関わろうとする。

□社会参画

「規範意識」

・法やきまりの意義を理解し、遵守すること

・消費生活についての制度や法・きまりについて理解するとともに、社会のルールの大切さについて考え、それを遵守して行動する。

■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

・自分の消費生活や消費者に関わるトラブルについて考えることで、社会の一員として自分にできることを考え、実践する。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

消費者教育	・商品の購入や消費者に関わるトラブルについて理解することで、消費生活に関する基本的な知識・技能を習得し、これらを活用して自主的かつ合理的に行動するように努める「自立した消費者」を育てる。
シティズンシップ教育	・クレジットカードに関する討論を通して、社会に参画している自分を想像し、将来の夢や希望をもち、その実現に向けて必要なことを考える能力を育てる。
金融教育(金銭教育)	・お金に関する幅広い学習を通して、健全な消費生活能力を養う。
法教育	・消費者に関わるトラブルが起こる原因について考える活動を通して、法やきまりの意義の理解を深め、法的なものの考え方を育てる。

4 単元の指導計画（9時間扱い）

時間	主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (2)	問 い を も つ 調 べ る 【商品の購入時に大切なことを話し合う】 ○商品を購入するとき何を基準に選択するか話し合う。(1) ・値段 ・質 ・使いやすさ ・手に入れたい気持ち 等 ○商品を購入した後で、後悔した経験について話し合う。(1) ・ネットショッピングのサイトを見て、服を買ったけれど、サイズや色が、欲しかった物と違っていた。 ・気に入ったので、すぐに購入したが、実際使ってみたら、とても使いにくかった。等	◇生活をよりよくする力 ★日常生活の振り返りを通して、生活と消費者行動との関連について理解している。 ★商品の購入について日常生活を振り返り、消費者として自分の行動について課題を見付けている。	・身近な消費生活について考えるために、具体的な事例を提示する。 ・購入の仕方について振り返らせ、どのようにすれば後悔しないで済んだのかについて考えるように助言する。
2次 (3)	話 し 合 う 【消費者トラブルについて考える】 ○金融経済教育教材「契約ってなんだろう」（東京都生活文化局消費生活部企画調整課）の中のクーリング・オフについて読み、消費者トラブルが起こる原因を考える。(1) ・巧みなセールストーク ・強引な売り込み ・消費者側の問題点 等 ○クレジット教育教材「クレジット博士と学ぶクレジットカード入門」(日本クレジット協会)を視聴し、クレジットカードの是非について討論を行う。(1) 賛成 ・多額の現金を持ち歩かなくてよいから、安全である。 ・社会の国際化により、海外での使用も、現金より便利である。 ・急に必要になった高価な物でも、分割払いで購入することができる。 反対 ・自己破産が起こりやすい。 ・気軽な気持ちで高価な物でも買ってしまう。 ○「賢い消費者」になるために必要なことを考える。(1) ・情報収集 ・満足感 ・必要性 等	□規範意識 ★教材を基にして、消費生活について理解し、社会のルールやきまりについて考えている。 ◇生活をよりよくする力 ★討論を通して、消費・契約について理解を深めている。 □規範意識 ★討論を通して、自分と異なる意見があることに気付き、様々な意見を公平に判断した上で自分なりの考えをもち、社会のルールの意義を考えている。	・クーリング・オフ以外の消費者トラブルについても触れ、消費者の周りに潜むトラブルについて理解させるようにする。 ・クレジットとは、信用による契約であることを理解させるようにする。 ・司会者から時間配分やルールについて全員に知らせ、討論の方法について共通理解を図る。 ・反対意見に備え、メモを取るよう指示する。
3次 (4)	振 り 返 る 【消費者生活で分かったことをまとめる】 ○消費者生活について分かったことや考えたことを発表し、日常生活で実践する。(4) ・消費者を守る法律や機関がある。 ・欲しい物を安易に購入しない。 ・家族や友達と日頃から消費者生活について話し合う。 ・商品を購入するときは、本当に必要かどうかよく吟味する必要がある。 ・困ったことがあったら自己判断せずに、消費生活センターへ相談するとよい。	■持続可能な社会の実現に向けた実践力 ★自分の生活と消費社会とを関連付け、学習したことを基に、今後の自分の消費生活で気を付けることを考え、実践しようとしている。	・金額が少額であっても、どのような物にいくら使ったのかなどについて記録をとるような取組を全体に紹介する。

中学校

自主・自律

人間関係

社会参画

第2学年 総合的な学習の時間

「ボランティアのすすめ」(20時間)

1 単元の目標

- ① ボランティア精神の意義について理解することを通して、社会のために進んで行動しようとする意欲を高める。
- ② 社会の一員として、よりよい地域社会の実現に向けて自分たちができる貢献活動を考え、友達と協力し合って実行することができる。

2 単元で育てたい資質・能力

◇自主・自律

「学びに向かう力」

- ・自分でめあてを決めて、計画的に最後まで取り組むこと
- ・集中力や持続力を発揮して取り組むこと

- ・ボランティア活動の意義や内容について理解することを通して、自分が取り組みたい活動内容を設定し、最後まで計画的に粘り強く活動する。

◆人間関係

「対人関係力」

- ・時と場に応じた適切な言動を行うこと
- ・相手の痛みや感情を共感的に受け止めて行動すること

- ・ボランティア活動を通して、地域の人や高齢者との関わりをもち、適切な話し方や態度で相手と接するとともに、その思いを共感的に受け止めて行動する。

□社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・ボランティア活動について考える活動を通して、地域には様々な人が自分と共に暮らしていることを理解し、社会のために自分にできることを考える。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

福祉教育	・ボランティア活動を通して、地域には様々な人が暮らしていることやその人の健康や安全について考えるとともに、共によりよく生きるために自分にできることを考え、実行する力を育てる。
シティズンシップ教育	・社会を形成する一員として、地域に住む様々な人の立場を考え、思いやりの気持ちをもち、助け合おうとする心情を育てる。
I C T教育	・ボランティア活動についての発表を通して、目的に応じたI C T機器の適切な利用方法を理解するとともに活用する力を育てる。

4 単元の指導計画 (20 時間扱い)

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ★評価	指導上の留意点
1次 (4)	問 い を も つ	<p>【町のために自分たちができることを考える】</p> <p>○生活をする中で、自分たちの町の課題を考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの不法投棄で、町の景観や衛生が損なわれていると家族が言っていた。 ・駅前の花壇の手入れをした方がよい。 ・一人で暮らしている高齢者が孤立している。 ・障害のある人にとって、段差は大変だと思う。 <p>○地域でボランティア活動をしている人の話を聞く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の意義とやりがい ・ボランティア活動をする上での注意点 ・ボランティア活動をしてよかったこと 等 <p>○自分たちが取り組みたいボランティア活動を実行するための計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や活動場所 ・活動期間や活動日 ・協力する機関 等 	<p>◇学びに向かう力</p> <p>★身近な生活から課題を見付け、ボランティア活動の意義を理解し、自分にできる活動について計画を立てている。</p> <p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★ボランティアについて考える活動を通して、地域には様々な人が暮らしていることを理解し、自分にできることを考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活について考えやすくするために、ごみや階段の段差等の写真を提示する。 ・自分の経験から、どのような立場の人が、どのようなことで困っているのか振り返るよう助言する。 ・意欲的に取り組むことができるように、取り組みたい内容によってグループを編成する。
2次 (11)	調 べ る 実 践 す る	<p>【町のために自分たちができることを実行する】</p> <p>○取材や施設訪問等をして必要な情報を集め、活動内容や活動計画をまとめる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の公民館の窓ふきや清掃をする。 ・福祉施設で高齢者と共に過ごす。 ・道路に落ちているごみを拾う。 ・保育園での手伝い。 ・駅前花壇の手入れをする。 ・地域の危険箇所の看板を作る。 等 <p>○計画に沿ってグループごとにボランティア活動に取り組む。(8)</p>	<p>◆対人関係力</p> <p>★ボランティア活動を通して、地域に住む多様な人々と交流し、相手に応じた適切な接し方をしている。</p> <p>◇学びに向かう力</p> <p>★計画通りに活動し、最後まで意欲的に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取材や施設訪問の前には、相手先に連絡を取り、聞きたい内容について伝えておく。 ・校外での活動の際には、安全面に十分に注意するように指導する。
3次 (5)	振 り 返 る	<p>【自分たちの活動を振り返る】</p> <p>○実践報告会でボランティア活動の取組を紹介する。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の草取りは大変だったが、地域の人も手伝ってくれたので、うれしかった。 ・募金活動では、多くの人が募金をしてくれたのでうれしかった。 ・地域の危険箇所の看板設置を、行政の人と協力してやれてよかった。 <p>○学習を振り返る作文を書く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからも自主的にボランティア活動をしたい。 ・ボランティア活動をしている人を見かけたら、協力しようと思った。 	<p>□主体的に計画・行動する力</p> <p>★ボランティア活動の取組を振り返り、自分が社会のためにできることを考え、作文に書いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会では、ICT機器等を活用して、活動報告について分かりやすく発表できるようにする。 ・ボランティア活動でお世話になった人たちに来ていただく場合には、最後に感想を話していただくことを事前にお願ひしておくようにする。

中学校

自主・自律

人間関係

社会参画

第3学年 総合的な学習の時間

「もし学校が避難所になったら」(8時間)

1 単元の見目標

- ① 大規模な災害発生時に想定される避難所生活において必要なことを考え、災害安全に関する意識を高め、自分にできることを実行する力を育てる。
- ② 災害発生後、中学生としてできる自他の安全を守るための行動の仕方について考え、地域社会の一員として、安全活動に進んで参加し、貢献しようとする態度を育てる。

2 単元で育てたい資質・能力

◇自主・自律

「問題発見・解決力」

- ・日常生活や社会状況から課題を見付けること
- ・課題を解決するための方法と手順を考え、これまでの経験や様々な情報を基に実行すること

- ・災害発生時に直面する課題について把握し、これまでの防災訓練の経験等から、適切な避難の仕方や学校が避難所になった場合に自分ができることを考える。

◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

- ・自他の安全を守るために、避難者の多様な立場を考えながら、自分たちができることを協力して考え、避難所で活動する計画を立てる。

□社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・学校施設をよく知る地域社会の一員として、自分たちに求められている役割を自覚し、災害時に自分たちが取り組むことができるように準備する。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

防災教育	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害等に関する理解を深め、現在や将来に直面する災害に対して、的確な判断に基づく適切な行動選択ができるようにする。 ・自他の生命を尊重し、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。
安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らが様々な自然災害についての理解に基づき、適切な避難や災害安全への貢献ができる資質や能力を育てる。
シティズンシップ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の防災活動に参加している自分を想像し、災害時に自分にもできることがあるという自覚を高め、地域の防災に進んで関わろうとする態度を育てる。 ・防災に関する自助・共助・公助をテーマとした学習を通して、社会を形成する一員としての自覚を育てる。
主権者教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に避難所が設置された際の自分の役割を考えることで、将来の主権者として国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、判断し、社会に参画していく資質や能力を育てる。

4 単元の指導計画（8時間扱い）

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 □社会参画 ★評価	指導上の留意点
1次 (2)	問 い を も つ	<p>【学校が避難所になったら自分たちに何が できるかを考える】</p> <p>○大規模な地震災害が発生したらどうなるか 考え、話し合う。(1/2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 津波が来るかもしれない。 余震が続く。 ・電話が使えない。 停電が起こる。 ・学校に避難する。 非常食を食べる。 等 <p>○地震災害の発生に伴う避難所生活の映像資 料を見て、分かったことや考えたことをま とめる。(1/2)</p> <p>○学校が避難所になった場合、自分たちにで きることにについて考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災倉庫から備蓄品を運ぶ。 備蓄品を避難者に配る。 避難してきた人を案内する。 けがをした人を助ける。 等 	<p>◇問題発見・解決力</p> <p>★災害発生時に直 面する課題を想 定しながら、これ までの防災訓練 の経験等から、自 分たちができるこ とを考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでに行った 防災訓練などの体 験を基にして、問題 意識を高めていく。 「3.11を忘れない」 (東京都教育委員会) を用いて災害発生 時の状況をイメー ジさせる。 避難所生活の映像 資料を基にして、 自分たちにできる ことを想起させる ようにする。
2次 (2)	調 べ る	<p>【自分たちができることを計画する】</p> <p>○被災者や消防署等の防災に携わる人から実 際に災害発生時の取組を聞く。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援物資の配給 被災者の治療 炊き出し 等 <p>○自分たちができることを具体的に計画する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> テントの設営 食料の配布 ゴミ箱の設置やゴミの回収 支援物資の運搬 簡易トイレの設置 等 	<p>◆他者と協働する力</p> <p>★避難者の多様な 立場を考えなが ら、自分たちに できることを協 力して考え、実 践に備えて計 画している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 避難生活が長く続 くことで生じる必 要なことにも着 目させる。 災害現場での活 動は安全面、衛 生面、精神的負 担等を十分に考 慮して活動の範 囲を定める。
3次 (4)	実 践 す る 振 り 返 る	<p>【自分たちの避難所での活動を実践する】</p> <p>○避難所での活動を想定して計画を実践する。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> テントの設営 食料の配布 ゴミ箱の設置やゴミの回収 支援物資の運搬 等 <p>○実践してみることでの良かった点と改善点 をグループで発表し、それぞれの班で実践 計画に反映する。(2)</p>	<p>□主体的に計画・ 行動する力</p> <p>★地域社会の一員 として自分たち に求められている 役割を自覚し、自 分たちにできる ことを災害時に 取り組むことが できるように準 備している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画した活動の指 導ができるよう に、教職員等の 体制を整えてお く。 学校全体の防災 計画も参考にし ながら実践計画 が反映できない か検討させる。

中学校

自主・自律

人間関係

未来の創造

第3学年 総合的な学習の時間

「自分に合った進路選択を目指して」(11 時間)

1 単元の目標

- ① 職業や上級学校を調べる活動を通して、望ましい生き方を考え、自分自身にとって適切な進路を選択するための活動を行うことができる。
- ② 上級学校訪問で調べたことや分かったことについて話し合う活動を通して、職業や上級学校についての理解を深め、進路を選択する上で自分にとって新たな知識や価値を見いだすことができる。

2 単元で育てたい資質・能力

◇自主・自律

「生活をよりよくする力」

- ・望ましい生き方について考え、適切な行為を選択し、実践すること

- ・職業や上級学校調べを通して、自分にとって望ましい生き方を考え、適切な進路選択につなげる。

◆人間関係

「対人関係力」

- ・時と場に応じた適切な言動を行うこと
- ・相手の痛みや感情を共感的に受け止めて行動すること

- ・上級学校を訪問した際に相手に対して適切な言葉遣いで話したり、友達が体験したことや進路について考えたことに対して共感的に聞いたりする。

■未来の創造

「新たな価値を創造する力」

- ・興味や関心、意欲をもって、独創的で知的な活動を行い、新たな価値を見いだすこと

- ・興味や関心のある職業や上級学校について、自分で調べたり友達の話を聞いたりすることで、自分の進路について新たな知識や価値を見いだす。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・職業や上級学校を調べることで、将来の夢や希望をもち、自己の進路や生き方を考えていく能力を育てる。 ・上級学校への訪問を通して、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。
シティズンシップ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の進路について考えることを通して、よりよい社会の実現に寄与する資質や能力を育てる。
I C T 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用して調べたり、調べたことについてコンピュータを活用してまとめたりすることで、目的に応じた I C T 機器の活用方法を理解するとともに、操作スキルの向上を図る。

4 単元の指導計画（11 時間扱い）

時間		主な学習活動・内容	育てたい資質・能力 ◇自主・自律 ◆人間関係 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (5)	問いをもつ	<p>【職業の種類やその職業に就くまでの進路について考えよう】</p> <p>○社会にはどのような職業があるかを話し合い、自分の進路選択について考える。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師になるには、国家試験に合格する必要がある。 ・公務員になるためには、どのような勉強をすればよいのか調べたい。 <p>○就労を視野に入れ、中学校卒業後の進路について調べる計画を立てる。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校の種類や学校の特色 ・卒業後の進路 ・実際に訪問して関係者の話を聞く計画 	<p>◇生活をよりよくする力</p> <p>★自分にとって望ましい生き方を考えながら、上級学校を調べる計画を立てている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の取組を振り返りながら話し合わせる。 ・職業や高等学校に関するインターネットのサイトや資料をあらかじめ準備しておく。 ・進路について調べる際には、自己の適性や夢・希望を考えて取り組むように助言する。
2次 (2)	調べる	<p>【自分が学びたい上級学校を訪問する】</p> <p>○学校訪問に向けて情報を集めて、学校の特色を調べ、訪問の計画を立てる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所や交通手段 ・校風や特色ある教育活動 ・授業や部活動の特色 ・訪問校、訪問日の選定 <p>※夏季休業中を利用して上級学校を訪問し、計画に沿って調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所の確認、施設の見学 ・学校関係者からの聞き取り <p>※調べたことを報告書にまとめる。</p>	<p>■新たな価値を創造する力</p> <p>★上級学校調べを通して、自分の進路について新たな知識や価値を見いだしている。</p> <p>◆対人関係力</p> <p>★上級学校を訪問した際に、相手に対して適切な態度で接している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中の活動に対して、安全面や対外的な活動の留意点として、上級学校側の訪問の申し込み方法等について確認させるようにする。
3次 (4)	話し合う	<p>【調べたことや体験したことを話し合う】</p> <p>○学校訪問やインターネットで調べたことで分かったことや考えたことを報告書にまとめる。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業体験の内容 ・部活動体験の内容 ・学校説明会の内容 等 <p>○進路選択の在り方について話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の適性の把握 ・自分の将来の夢や希望 ・進路選択後の取組 <p>○自分の進路選択について考えたことを作文に書く。(1)</p>	<p>◆対人関係力</p> <p>★友達の体験や進路の考えを共感的に受け止め、自分の考えに生かしている。</p> <p>■新たな価値を創造する力</p> <p>★進路選択は自分の適性や夢・希望と関係付けて考えることの大切さに気付いている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の作成にはICT機器を利用し、構成を工夫するように助言する。 ・進路選択の際に、どのようなことが大切か再度投げかけるようにする。

中学校

人間関係

社会参画

未来の創造

第3学年 総合的な学習の時間

「20年後の私・未来の創造」(17時間)

1 単元の見目標

- ① 起業した人の話から、働くことの意義や社会との関わりを理解し、社会貢献を踏まえて将来の生活設計や人生設計を考えた未来の設計図をまとめ、自分のこれからの生き方を考えることができる。
- ② 地域の活性化につながる商品の販売企画書を作成することを通して、友達の考えを尊重したり自分の考えと比較したりしながら、協力し合って活動することができる。

2 単元で育てたい資質・能力

◆人間関係

「他者と協働する力」

- ・目標に向けて、多様な他者の考えや立場を理解して、進んで他者と協力して行動すること

- ・地域の活性化につながる商品を販売する企画書を作成するために、友達の考えを尊重したり自分の考えと比較したりしながら、協力し合って活動する。

□社会参画

「主体的に計画・行動する力」

- ・社会の一員として自分に求められている役割を自覚し、社会の発展に貢献するために活動すること

- ・働くこととよりよい社会とのつながりを理解することで社会の一員として求められる役割を自覚し、社会への貢献を踏まえて未来の設計図を考える。

■未来の創造

「持続可能な社会の実現に向けた実践力」

- ・身近な地域や社会で起きている問題を自分の生活と関連付けて捉え、自分に何ができるかを考え、実践すること

- ・働くことをテーマとして、自分の生活と社会とのつながりを捉えながら、20年後の社会状況を見据えて、自分の生き方を考える。

3 単元で扱う主な教育課題との関連

シティズンシップ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことを通して、自己実現を図り、よりよい社会の実現に寄与しようとする資質や能力を育てる。 ・商品の開発、販売の企画書や未来設計図の作成を通して、社会の形成者として貢献するために必要な能力の基礎を培う。
キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・未来設計図を考えることで、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく資質や能力を育てる。
主権者教育	<ul style="list-style-type: none"> ・社会との関わりを踏まえて自分の将来像を描くことで、主権者として国や社会が抱える問題と向き合い、政治への参加を通して積極的に社会に参画しようとする資質や能力を育てる。
租税教育	<ul style="list-style-type: none"> ・20年後の社会情勢と自分の将来を考える中で、租税の意義や役割への理解を深め、将来の納税者として社会や国の在り方を主体的に考える資質や能力を育てる。

4 単元の指導計画（17 時間扱い）

時間		主な学習活動	育てたい資質・能力 ◆人間関係 □社会参画 ■未来の創造 ★評価	指導上の留意点
1次 (3)	問 い を も つ	<p>【労働と社会とのつながりを考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職場体験を振り返り、働くことの意義を話し合う。(1) ・仕事は大変でも、社会に役立つ実感がある。 ○地域で起業した人に話を聞く。(1) ・起業しようとした動機 ・起業するまでの取組 ・仕事の苦勞ややりがい 等 ○社会の一員として起業家になるという想定で自分の取組について考える。(1) ・高齢社会に対応するため、製薬会社を起業したい。 ・地域の特産物を生かした商品を開発する会社を起業したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■持続可能な社会の実現に向けた実践力 ★職場体験や外部講師の話から、働くことをテーマに、自分の生活と社会とのつながりを捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験で学んだことを想起させ、人生における働くことの意義について考えるように助言する。 ・起業しようとする動機に着目させ、自分が起業するとしたらどのような目的で、どのようなことに取り組むか考えさせるようにする。
2次 (9)	調 べ る 実 践 す る	<p>【模擬起業体験をする】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の活性化につながる新商品を売り出すことをテーマとして、グループで企画書を作成する。(6) ・消費者のニーズと開発のコンセプト ・商品設計と採算性、実現の可能性 ・販売方法や宣伝方法 ○企画を紹介するコンペティションを開く。(3) ・プレゼンテーション資料や説明資料の準備をする。 ・地域の人を招いてコンペティションを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆他者と協働する力 ★地域の活性化につながる商品を販売する企画書を作成することを通して、友達の考えを尊重したり自分の考えと比較したりしながら、協力し合って活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企画書の作成に際して、消費者のニーズを把握するために、校内や地域でのアンケート調査や取材活動を行うように助言する。 ・地域の人に、事前にコンペティションを行う趣旨を伝える。
3次 (5)	振 り 返 る	<p>【20年後の自分を想像し、未来の設計図を作成する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○模擬起業体験を振り返り、働くことの意義について話し合う。(1) ○これまでの学習を振り返り、社会を形成する一員としての自分たちの役割について話し合う。(1) ○20年後の社会の変化を想像し、そこに生きる一人として今後どのような生き方をしていくか未来設計図にまとめ、紹介し合う。(3) ・少子高齢社会の中で、自分たちは社会全体を支えていく存在になる。 ・ロボットを開発し、安価で供給するシステムを構築したい。 ・温暖化を抑制するために、環境問題に取り組む仕事に就きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> □主体的に計画・行動する力 ★働くことをテーマとして自分の生活と社会とのつながりを捉えながら、20年後の社会状況を見据えて、自分の生き方を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・20年後の社会の状況について、社会科や理科の学習を振り返ることでイメージをもたせるとともに、教師が補足説明をする。 ・自分たちの役割として、国民として果たすべき義務についても確認する。